

■ 一般質問 平成 28 年 3 月定例会 【若者支援について】

〔中村圭介〕



地域活動の中核を担う若い人材を育成するためにも、多様な若者が集い活動できる組織体「若者会議」の設置に取り組んでみてはどうか。

〔市長〕



若者会議の設置はぜひやりたいと思っています。さまざまなご提案やご意見を伺いながらそのあり方について検討し、今年度実施に向けて取り組んでいきます。

〔中村圭介〕



協働のまちづくりを推進するためにも、市民活動を支援する専門窓口を設置してはどうか。



トップニュースでもお伝えしましたが、訴え続けてきたこの一般質問に成果が上がりました！



平成 29 年 5 月開始 ヤングチャレンジ特命課「若者会議」
今後も政策として形に残せるように、思いを持った一般質問に努めて参ります。

■ 一般質問 平成 29 年 9 月定例会 【公共施設等総合管理計画に基づく施設整備と維持管理について】

〔中村圭介〕



公共施設の維持管理や統廃合を進めていくためには相当な労力と時間を要する。各課の負担を軽減し、スムーズな計画策定を実現するためにも専門部署を設けて取り組むべきではないか。

〔建設部長〕



公共建築物の今後のあり方につきましては、新設よりも改築、長寿命化、そして維持修繕に重点が置かれるものだと考えております。現状では、施設を有する担当課がそれぞれの判断に基づいて維持修繕を実施しておりますが、今後庁内の改修業務を組織として一元化したほうが画一的、そして効率的な維持管理が可能であり、また、技術の集約や職員の育成にもつながるのではないかと考えているところです。そのようなことを踏まえまして、営繕部署の組織化ということにつきましては、どのような体制が望ましいか組織担当部署のほうと調整を図ってまいりたいと思います。

中村圭介 2 期目の政策

一 長期ビジョンを持った政策の提言 二 衆知に基づく政策の提言 参 緊縮財政だけではなく積極財政の提言

米沢市の住民基本台帳人口 平成 29 年 10 月現在 → 83,944 人 前年同月比：986 人減

バックナンバーはホームページにて [米沢市 中村圭介 検索](#)

視察 地域ブランドの確立を！ 全国展開の今治タオルに学ぶ！



【10 月 四国（高知・今治・砥部）3 自治体視察】

平成 29 年 10 月 16 日から 3 日間の日程で、産業建設常任委員会の管外視察を行いました。本年度から、各常任委員会ごとに政策提言を行うことを前提として、取り組むべき課題、テーマを設けております。産業建設常任委員会では「地域ブランドの確立」をテーマとしております。本年度から本格的に本市が取り組む「ブランド戦略事業」を力強く推し進めることが一番の理由です。そういった観点から、地域ブランド向上に先進的に取り組む、高知・今治・砥部（とべ）の 3 自治体で学びの機会をいただきました。



今治タオルの全国展開

今では、全国的にも有名な今治タオルですが、以前は生産量の減少や後継者不足等から衰退の一途をたどっておりました。転機となったのが「今治タオルプロジェクト」です。今治タオルとしての品質を確保するために品質基準を定め、ブランドマークを作成。さらには、オンラインショップや首都圏でのアンテナショップ展開の結果、日本を代表するブランドへと進化を遂げました。特筆すべきは、行政の関与が最小限であることです。つまりは行政主導ではなく、業界内からその進化の声が上がり、主体的な行動に

移したことが成功要因でありました。政策を押し付けても主体者に気持ちが無ければ物事は進まないという事を痛感。本市のブランド事業を展開するうえでも、情熱ある多くの市民を巻き込む手法が重要な課題となります。今回の学びをしっかりと提言に結び付けてまいります！

議 会 タブレット導入！ 会議の効率化が進む！



米沢市議会では、今年の 6 月定例会よりタブレット端末を導入しました。このペーパーレス化によってこれまで年間膨大な量の紙資料が無くなり、印刷コスト及び配布コストの削減に期待できます。

また、会議資料を電子データとして一括管理を行いますので議会運営の効率化、活発化に結びつくものと思います。活用しての感想としては、ほとんどの資料がデータとして内蔵されているので、打ち合わせの際に大量の資料を持ち運ぶという事が無くなり助かっております。現在、タブレット端末を活用した災害時の安否確認や情報の共有について検討を進めております。多様な利用方法について試行錯誤しながら、効率的な議会運営に向けて頑張ります！